

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

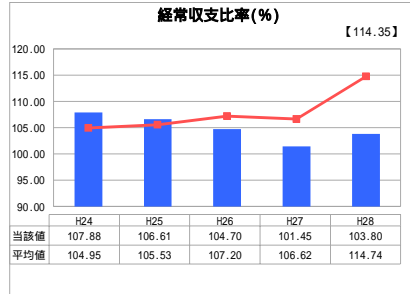
山形県 西川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	67.87	87.42	4,190	

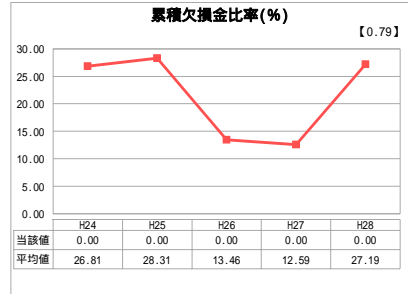
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,706	393.19	14.51
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,935	8.40	587.50

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

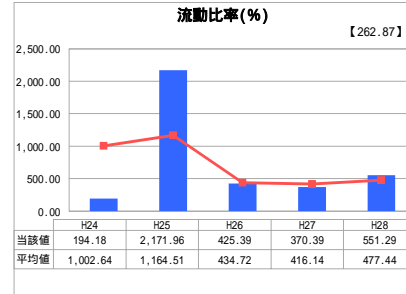
## 1. 経営の健全性・効率性



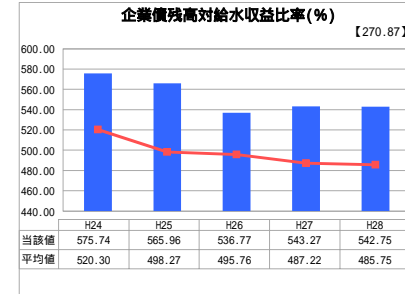
「経常損益」



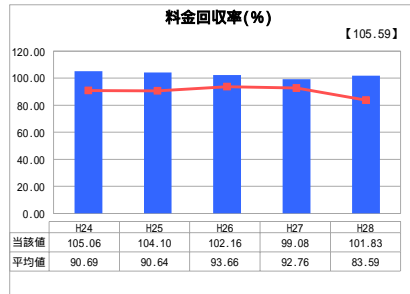
「累積欠損」



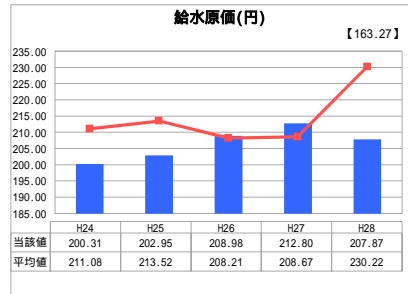
「支払能力」



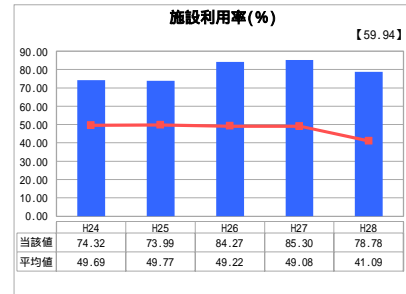
「債務残高」



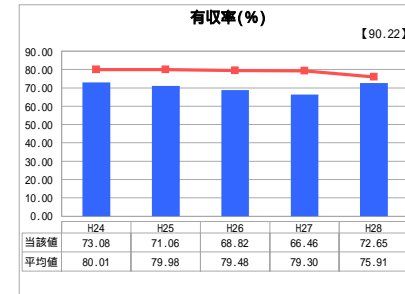
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

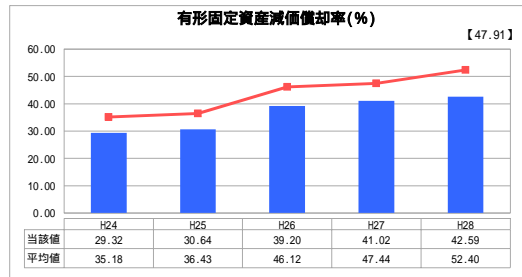


「施設の効率性」

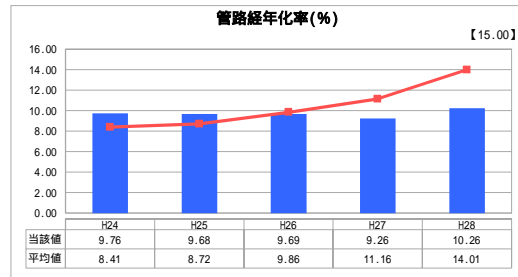


「供給した配水量の効率性」

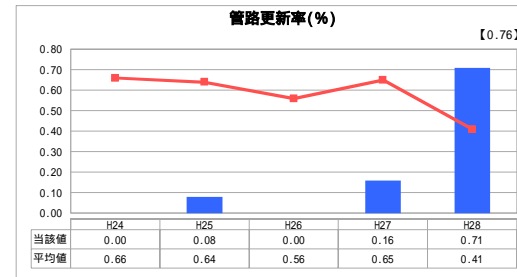
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支は黒字であるものの、少子高齢化による人口減少や企業の節水等により、年々給水収益が減少しており、「経常収支比率」は類似団体と比較して低くなっている。  
 「企業債残高対給水収益比率」が類似団体と比較して高く、設備の更新を企業債に依存しているため、その償還が多額になっており経営を圧迫している。  
 「給水原価」は、経常費用が減少し年間有収水量が増加したため前年度より減少し、類似団体と比較して低くなっているが、維持管理費の削減等、今後も経営改善が必要である。  
 水道施設の老朽化による漏水件数が年々増加傾向にあり、「有収率」が類似団体と比較して低い要因となっている。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超えた管路の割合が上昇し、漏水の原因になっている。類似団体と比較しても、その割合は大きく、計画的な管路更新の必要性が高い。早急な検討が必要となっている。  
 「管路更新率」は、配水管の新設を行ったため前年度より上昇し、類似団体と比較しても上回っている。

## 全体総括

平成29年度に簡易水道との統合を行うため、料金の改定を視野に入れながら、更なる費用削減や設備投資のための財源確保、財政計画や投資計画を見直し、早急に経営改善を図っていく必要がある。